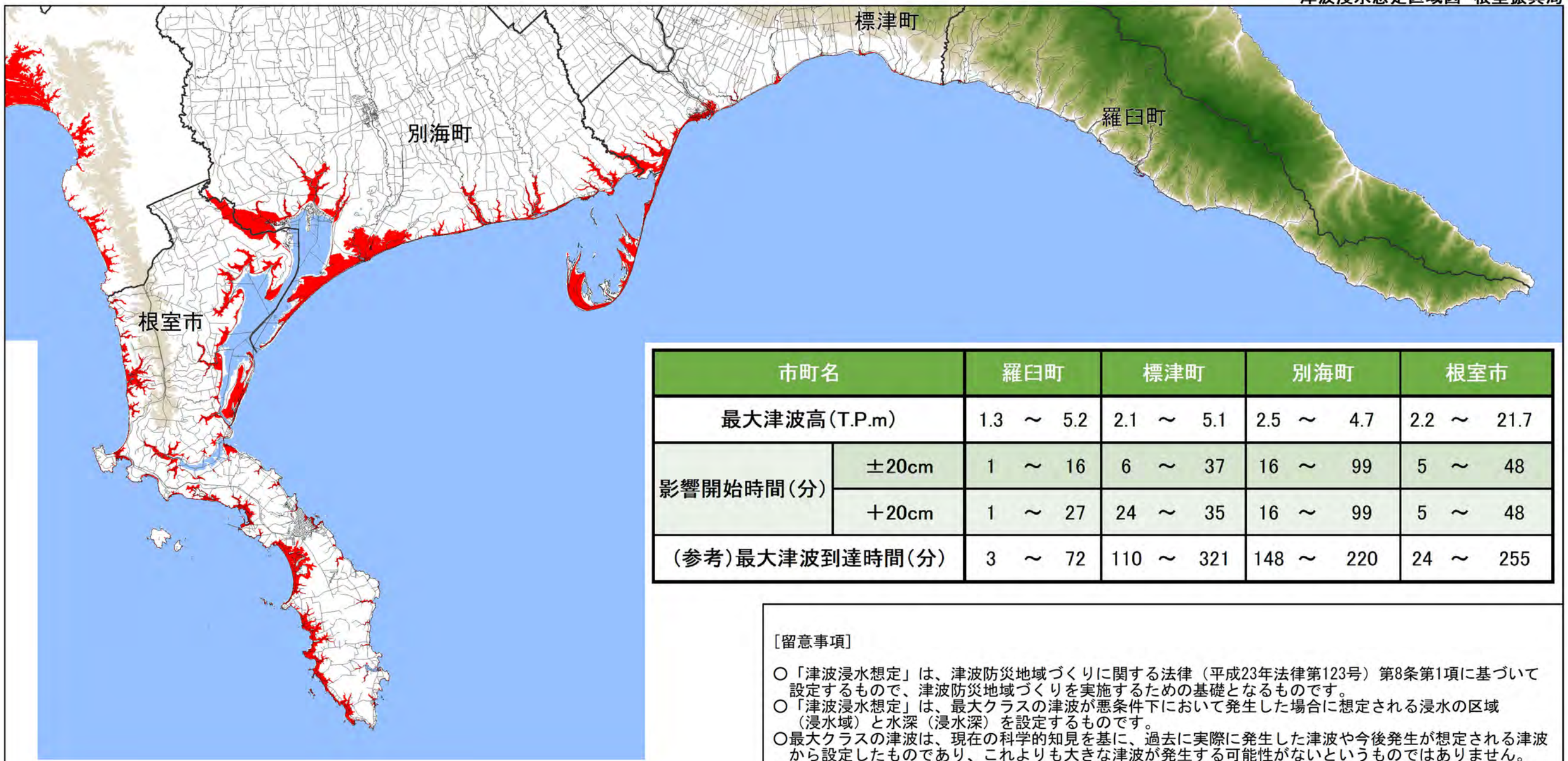
資料１－１０

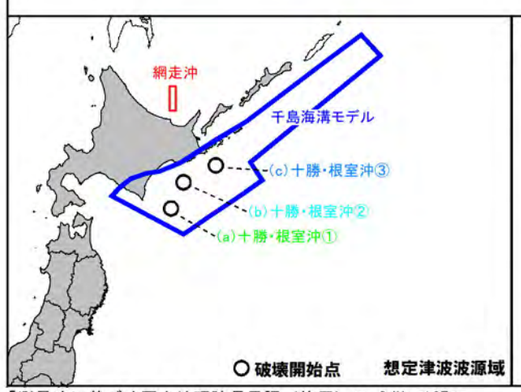
津波浸水想定区域図　（振興局別図：根室）
津波浸水想定区域図（市町村別図：羅臼町）
太平洋沿岸の津波浸水想定について（解説）
本編・参考資料１～３
（羅臼町変更分抜粋）

令和５年２月

北海道防災会議　地震火山対策部会　地震専門委員会
津波浸水想定設定ワーキンググループ



市町名		羅臼町	標津町	別海町	根室市
最大津波高(T.P.m)		1.3 ～ 5.2	2.1 ～ 5.1	2.5 ～ 4.7	2.2 ～ 21.7
影響開始時間(分)	±20cm	1 ～ 16	6 ～ 37	16 ～ 99	5 ～ 48
	＋20cm	1 ～ 27	24 ～ 35	16 ～ 99	5 ～ 48
(参考)最大津波到達時間(分)		3 ～ 72	110 ～ 321	148 ～ 220	24 ～ 255



[シミュレーションの条件]

（１）想定津波　：千島海溝モデル【十勝・根室沖①】
　　：千島海溝モデル【十勝・根室沖②】
　　：千島海溝モデル【十勝・根室沖③】
　　：オホーツク海モデル【網走沖】

（２）構造物条件　：海岸堤防、河川堤防などの施設は地震動により破壊、或は津波が越流すると施設の機能が失われる想定

（３）潮位条件　：朔望平均満潮位

0　5　10　15　20km

S　N

[留意事項]

○「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を設定するものです。
○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
○浸水域や浸水深等は、局所的な地面の凹凸や構造物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
○この津波浸水想定では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないことにご注意ください。
○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
○地震の震源が想定より陸域に近いなど、条件が異なる場合には、ここで表した時間よりも早く津波が来襲する可能性があります。
○一級河川や一部の都市部以外の航空レーザ測量のデータがない地域では、国土地理院発行の数値地図25000を複製してシミュレーションに用いる地形データを作成しているため、航空レーザ測量のデータより津波高の精度が低い区域があります。
○津波は自然現象であることから、想定には不確実性を伴います。また、今回想定は、限られた条件設定のもと想定したもので、条件設定（路面凍結や河川流量、構造物の破壊状況）の違いによる不確実性を含むものであるため、今回想定の津波高等はある程度幅を持っており必ずしも今回の想定結果とおりにとは限らず、場合によってこれを超えることもあり得ることに注意する必要があります。
○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 167」

[留意事項]
○「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を設定するものです。
○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
○浸水域や浸水深等は、局所的な地面の凹凸や構造物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
○この津波浸水想定では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないことにご注意ください。
○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
○地震の震源が想定より陸域に近いなど、条件が異なる場合には、ここで表した時間よりも早く津波が来襲する可能性があります。
○一級河川や一部の都市部以外の航空レーザ測量のデータがない地域では、国土地理院発行の数値地図25000を複製してシミュレーションに用いる地形データを作成しているため、航空レーザ測量のデータより津波高の精度が低い区域があります。
○津波は自然現象であることから、想定には不確実性を伴います。また、今回想定は、限られた条件設定のもと想定したもので、条件設定（路面凍結や河川流量、構造物の破壊状況）の違いによる不確実性を含むものであるため、今回想定の津波高等はある程度幅を持っており必ずしも今回の想定結果とおりにとは限らず、場合によってこれを超えることもあり得ることに注意する必要があります。
○「津波浸水想定」の浸水域、浸水深や到達時間は、市町村による避難計画策定を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないこと、住民に対しては、自らできる限り迅速かつできる限り高く安全な場所を目指して避難するよう、徹底していく必要があることにご注意ください。
○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

凡　例

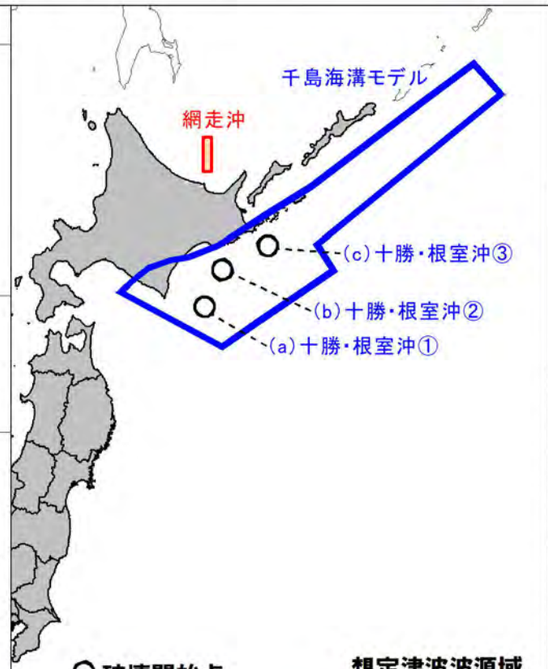
浸水深(m)
- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

地点名				
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	+20cm	第1波	最大波
O.Om	○○分	○○分	○○分	○○分

※図2参照
±0.2m　：　津波影響開始時間
第1波　：　津波第1波到達時間
最大波　：　最大津波到達時間

※注１　各種高さの模式図（図１参照）
最大水位は、代表地点周辺における最高の津波高さ（標高）です。
浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
浸水域は、海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域です。
※注２　津波影響開始時間と津波到達時間（図２参照）
津波影響開始時間は、地震による地盤沈下に伴い低下した地震発生直後の海面（初期水位）に、±20cmの変動が生じるまでの時間。
地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化(初期水位から水位変化が±20cm)が生じるまでの時間です。
なお、最大波は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
また、実際の津波到達予想時間はこれよりも早くなる場合もあります。



○破壊開始点　　想定津波波源域

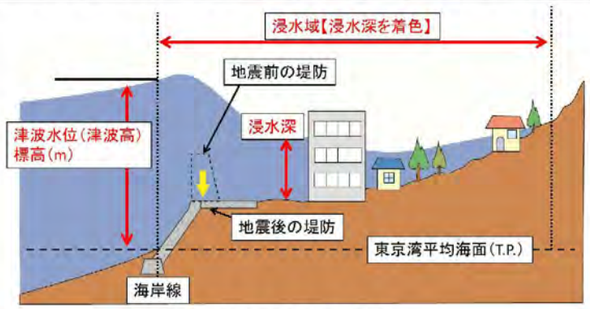


図1　各種高さの模式図

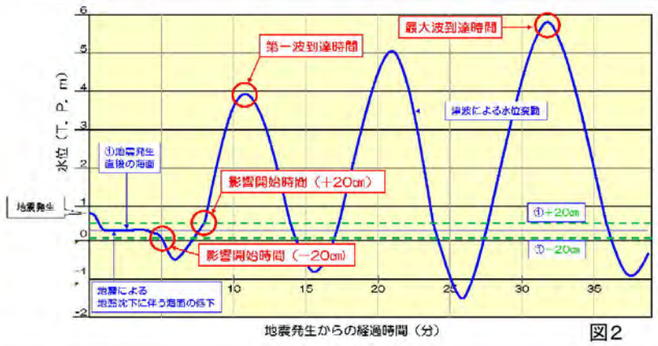
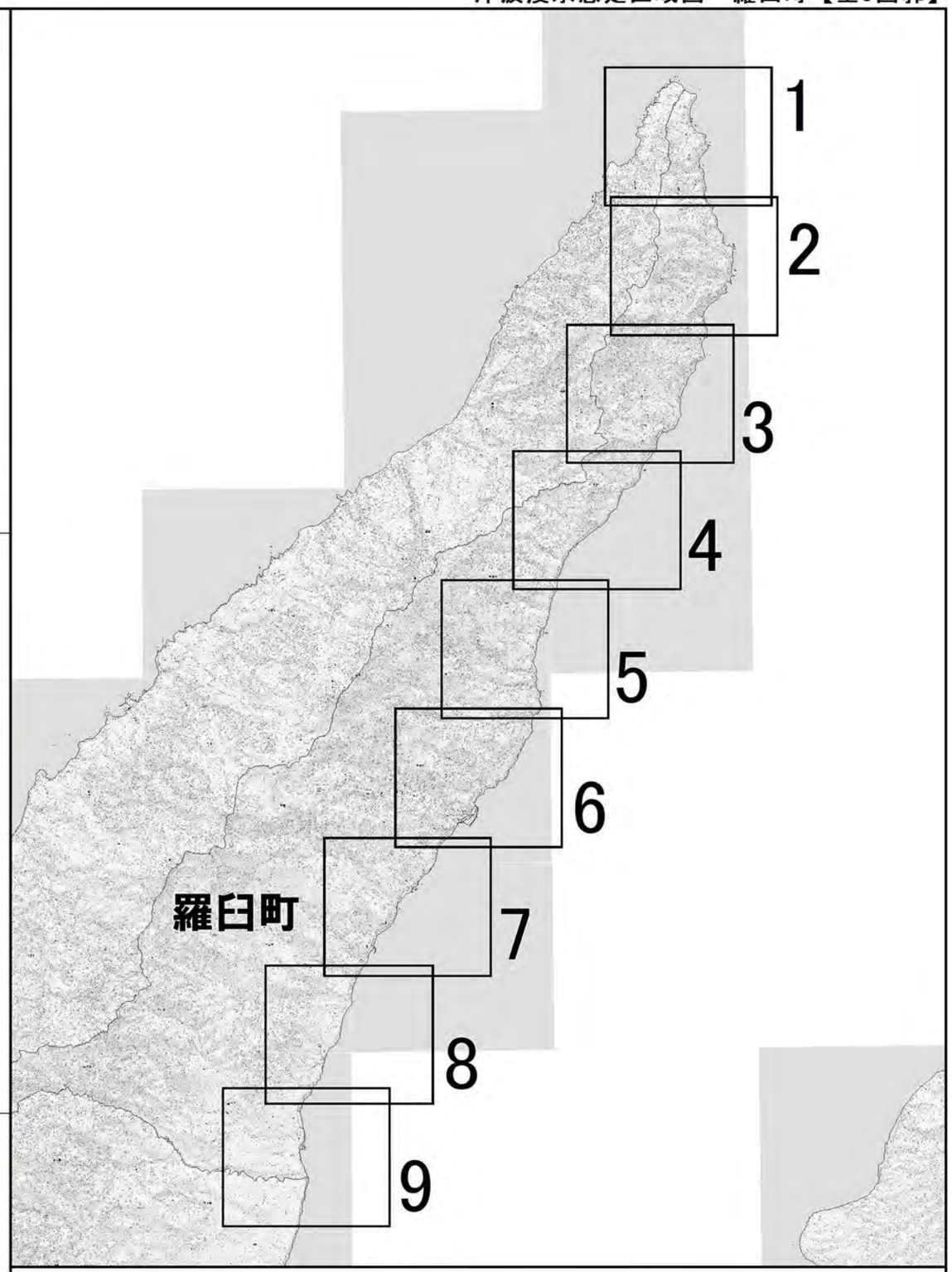
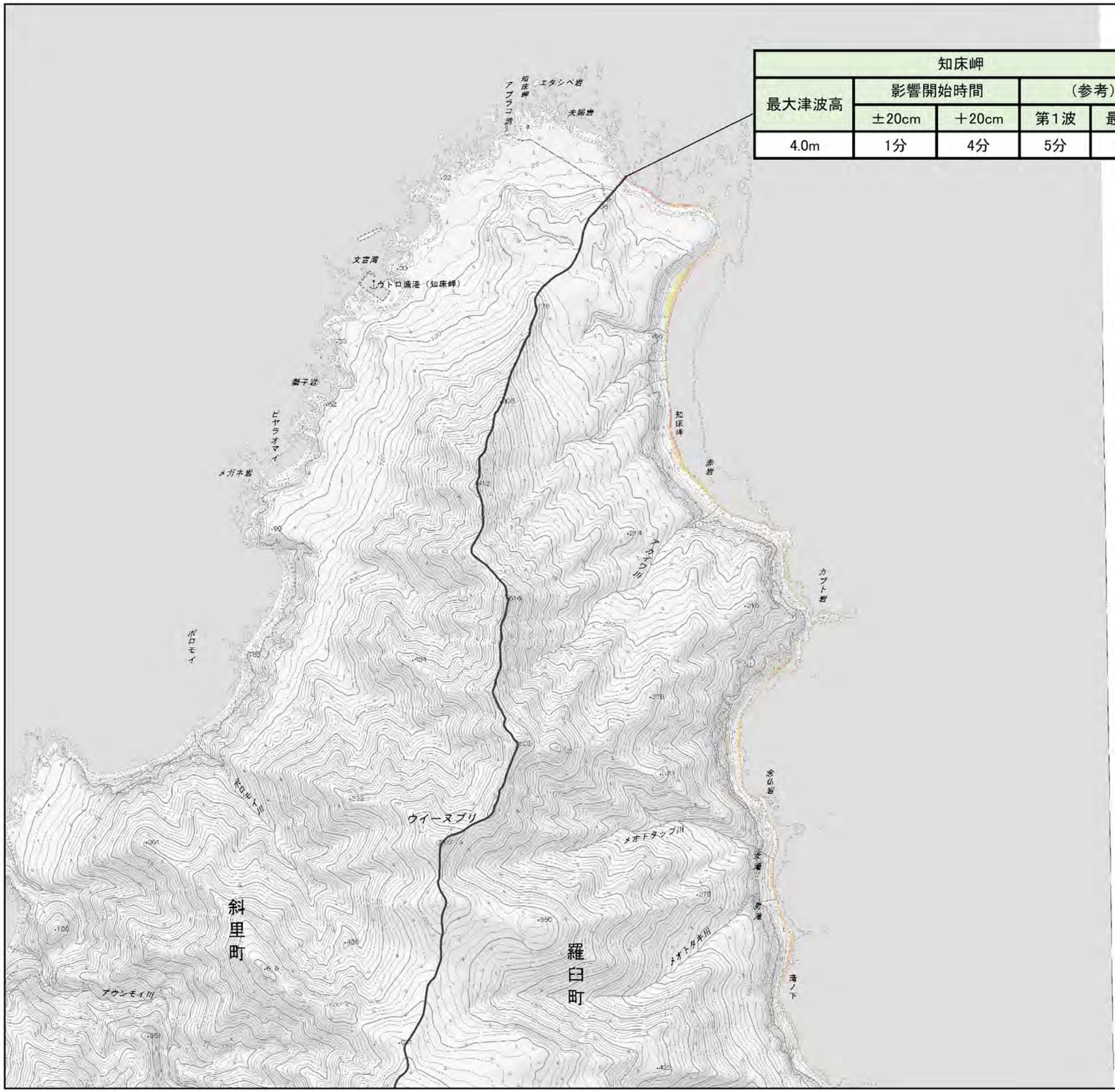


図2

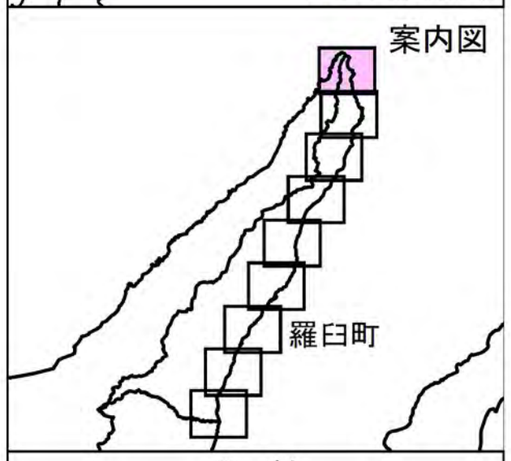


N
S
0　5　10　15　20km

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 3JHs 167」



知床岬				
最大津波高	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	＋20cm	第1波	最大波
4.0m	1分	4分	5分	15分



凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

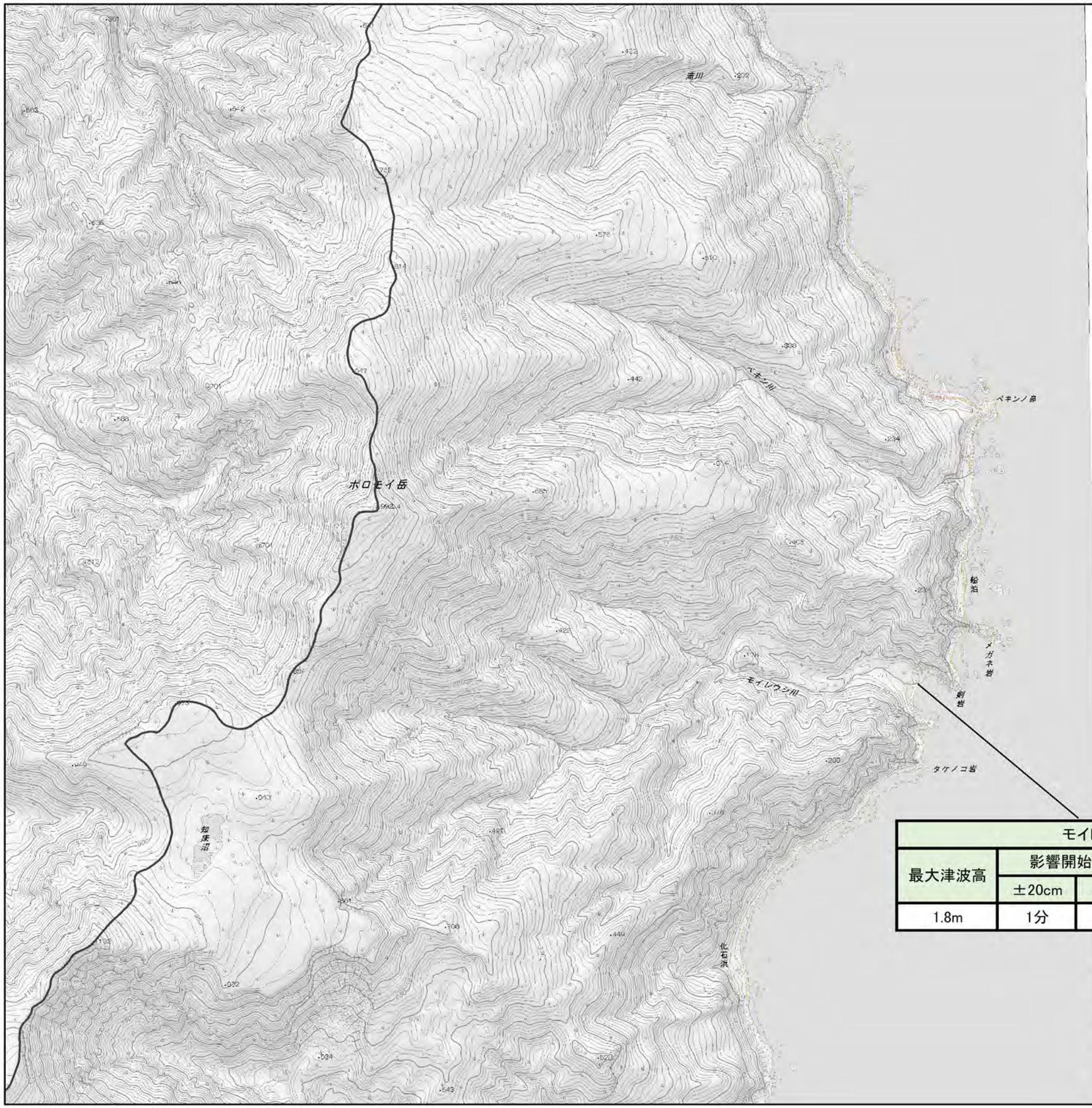
地点名				
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	+20cm	第1波	最大波
O.Om	OO分	OO分	OO分	OO分

※代表地点の津波諸元は、全ケースで元も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

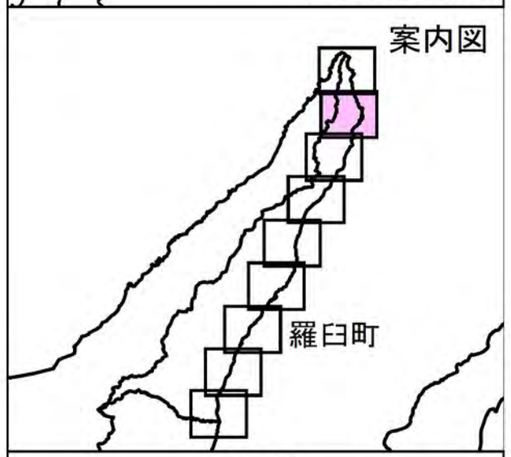
N
S

縮尺　1　：　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R 4JHs 187 」



モイレウシ川				
最大津波高	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	＋20cm	第1波	最大波
1.8m	1分	1分	2分	17分



凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

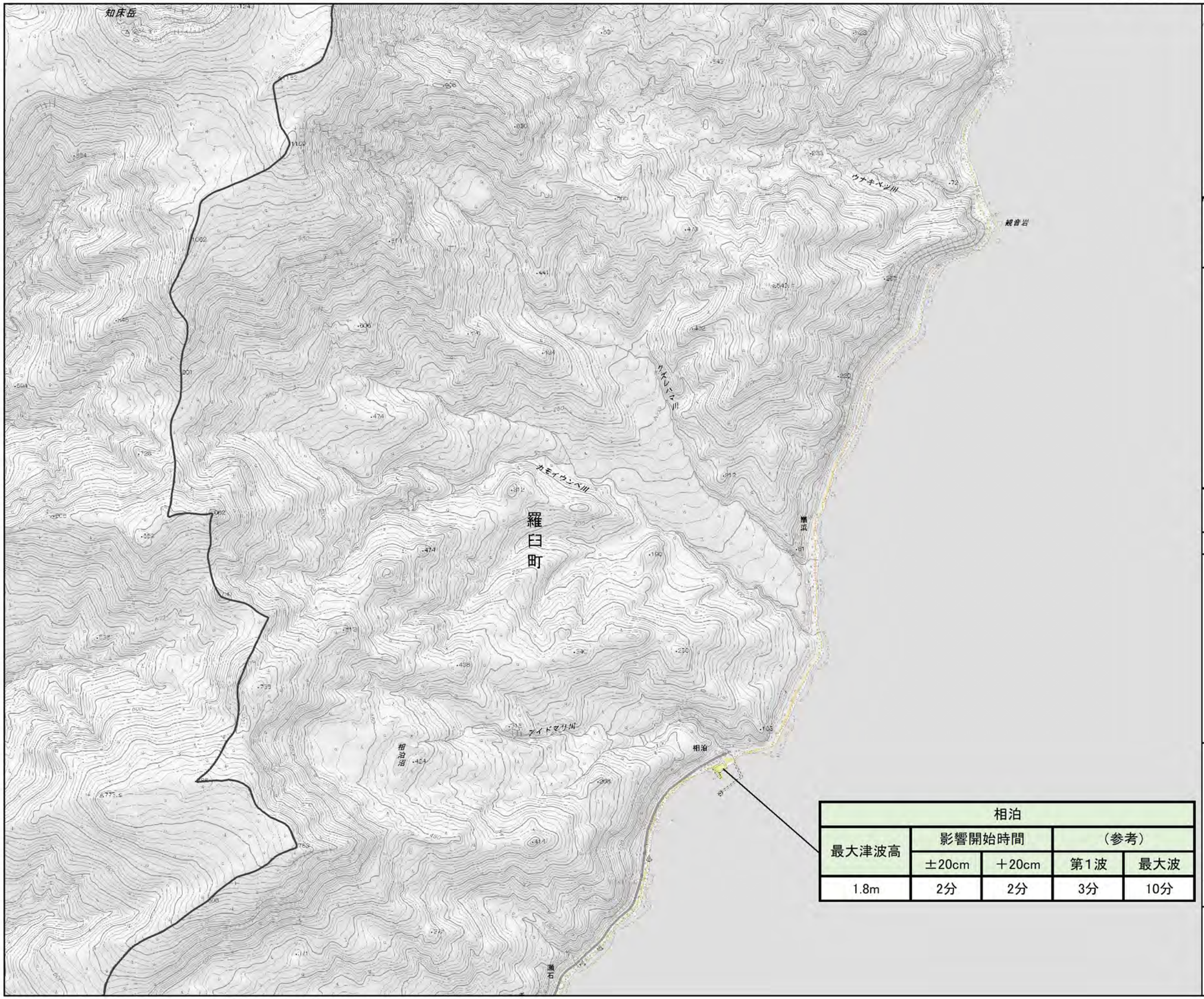
地点名				
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	+20cm	第1波	最大波
O.Om	○○分	○○分	○○分	○○分

※代表地点の津波諸元は、全ケースで元も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

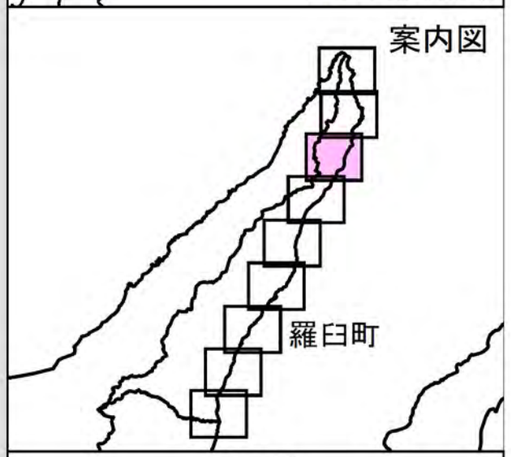
N
S

縮尺　1　：　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R 4JHs 187 」



相泊				
最大津波高	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	＋20cm	第1波	最大波
1.8m	2分	2分	3分	10分



凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

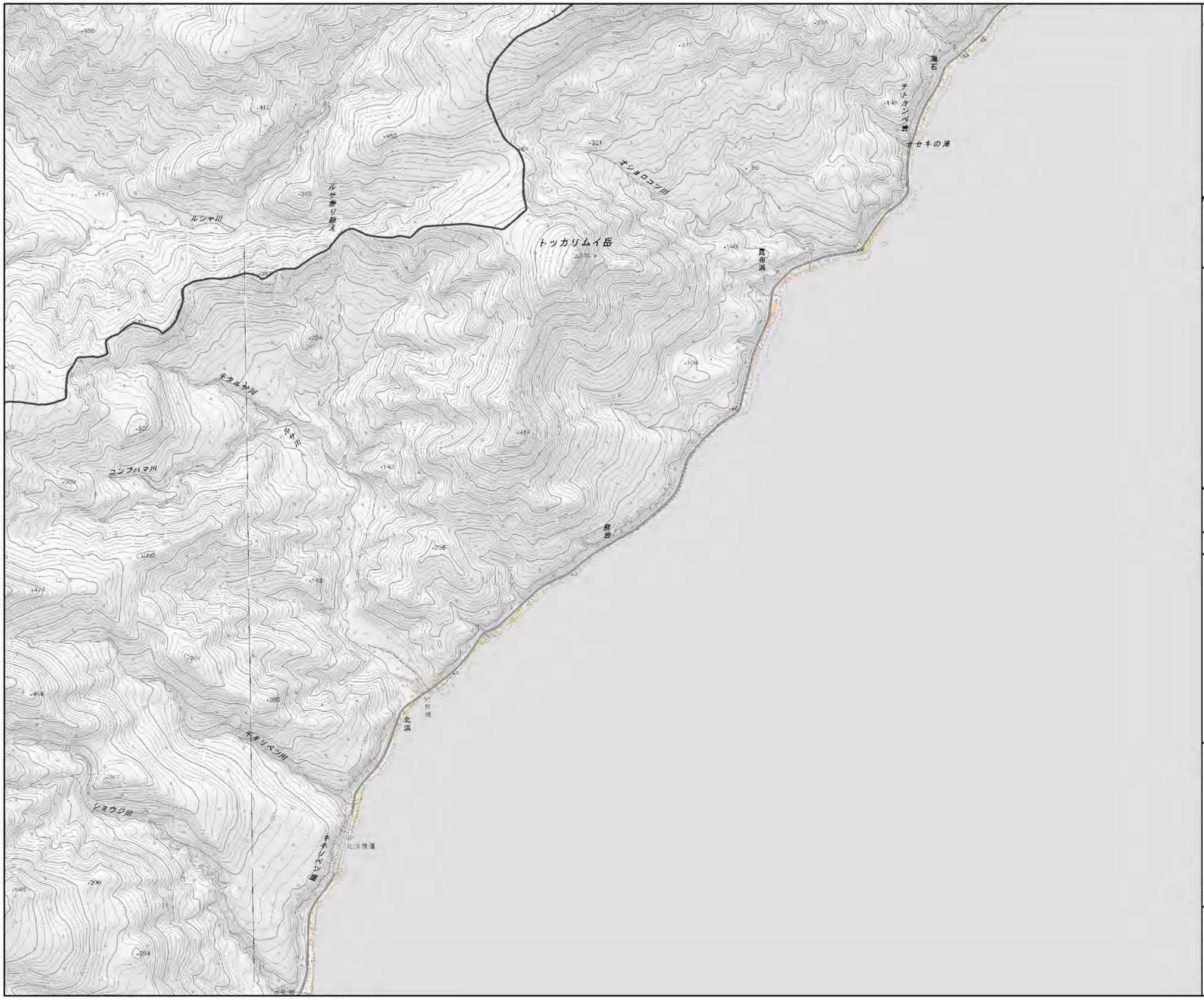
地点名				
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	+20cm	第1波	最大波
O.Om	OO分	OO分	OO分	OO分

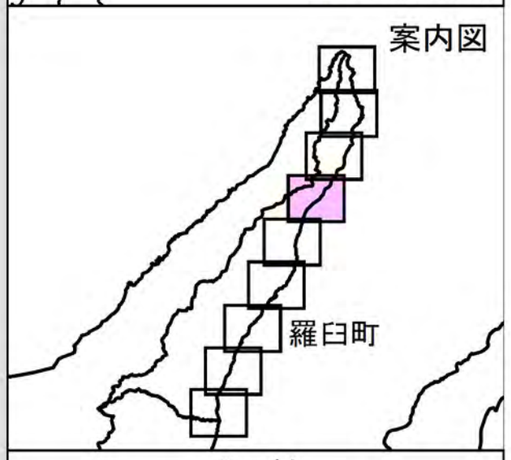
※代表地点の津波諸元は、全ケースで元も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

N
S

縮尺　1　：　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R 4JHs 187 」





凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

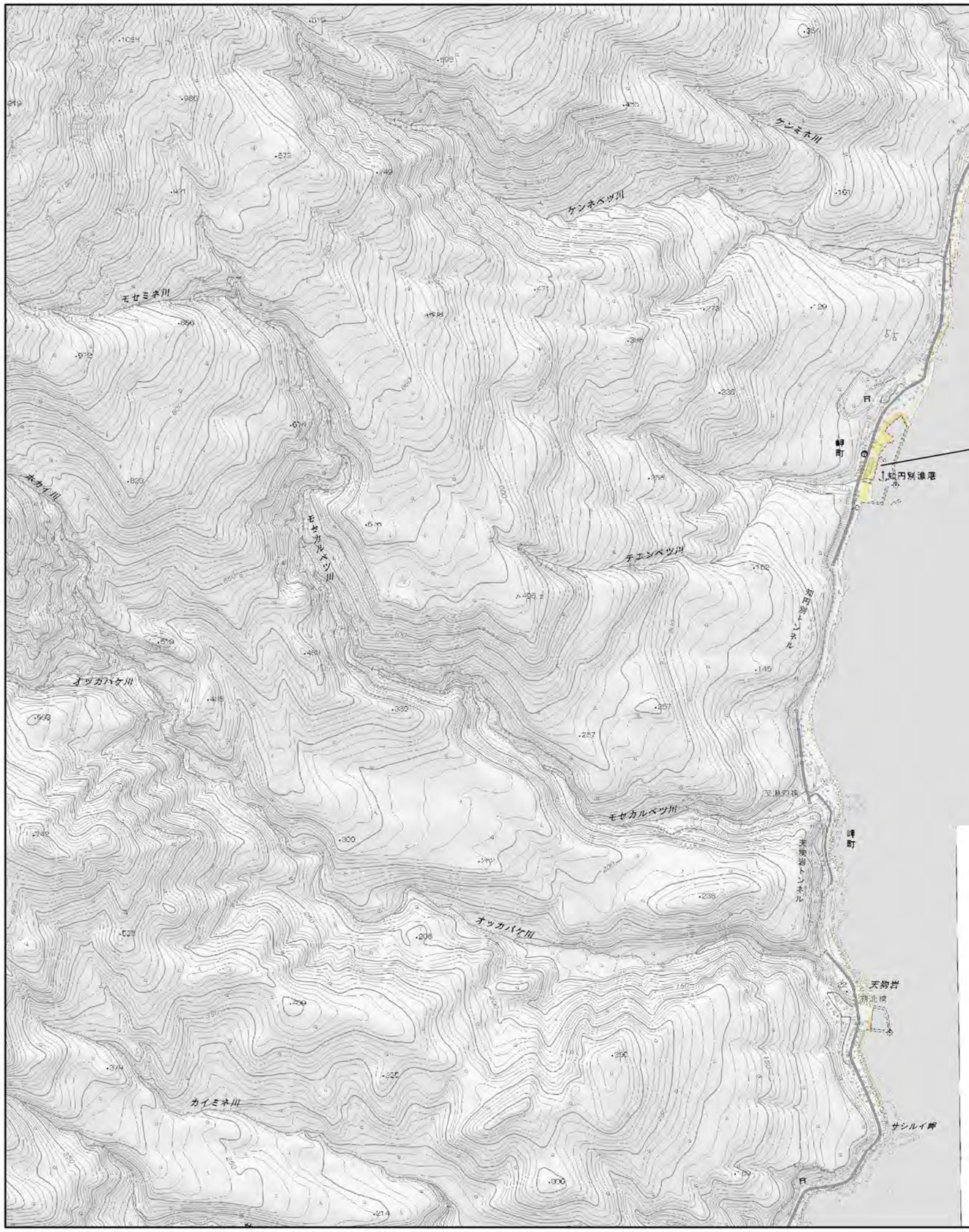
地点名				
最大津波高 (T.P.m)	影響開始時間		(参考)	
	±20cm	+20cm	第1波	最大波
O.Om	OO分	OO分	OO分	OO分

※代表地点の津波諸元は、全ケースで元も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

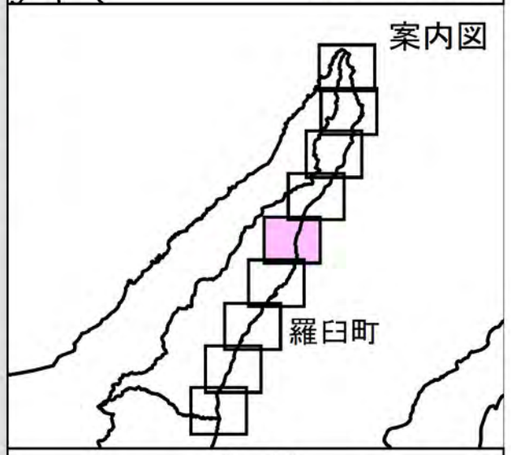
N
S

縮尺　1　:　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4JHs 187 」



岬町				
最大津波高	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	＋20cm	第1波	最大波
1.5m	1分	1分	2分	20分



凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

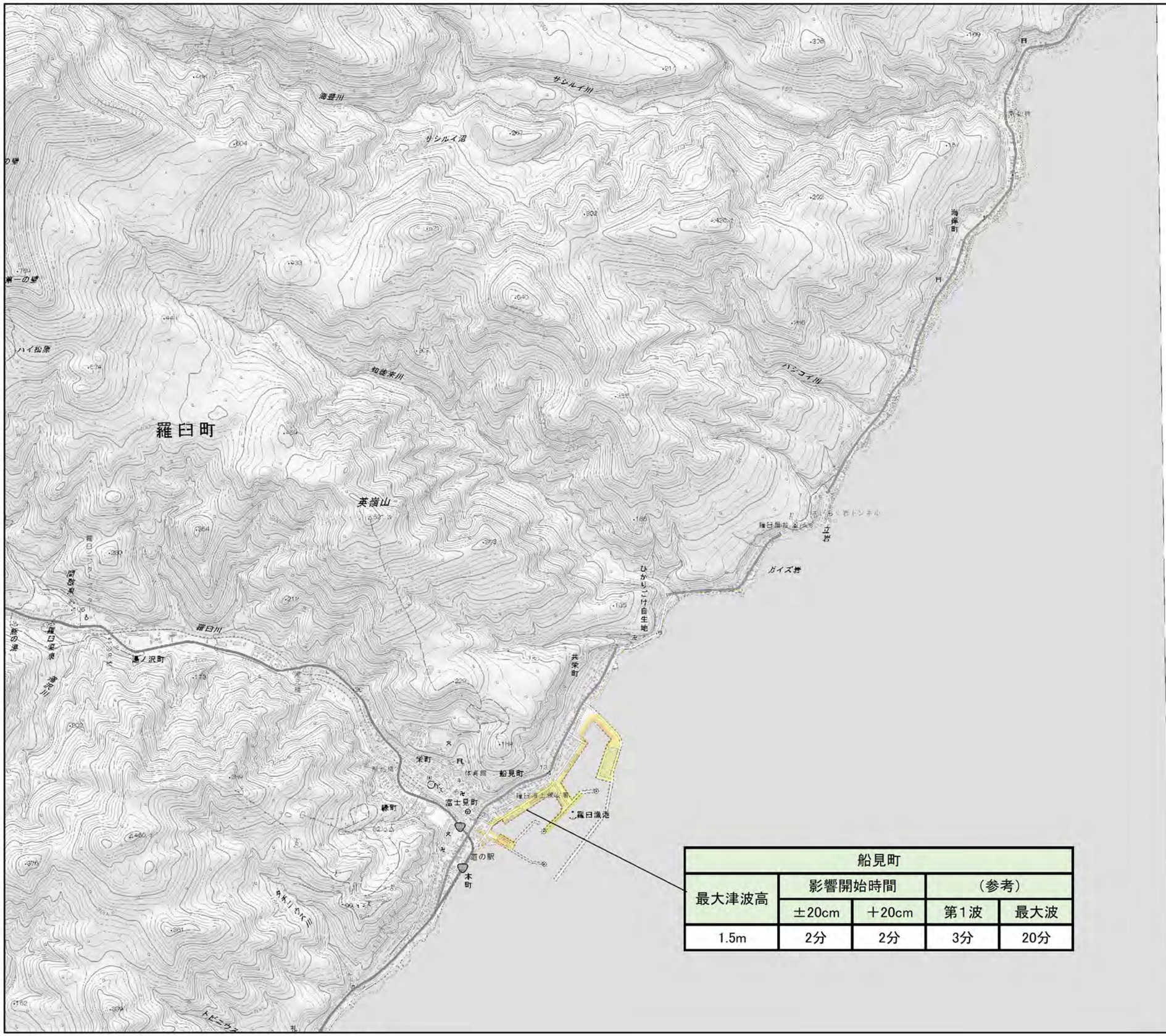
地点名				
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	+20cm	第1波	最大波
O.Om	○○分	○○分	○○分	○○分

※代表地点の津波諸元は、全ケースで元も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

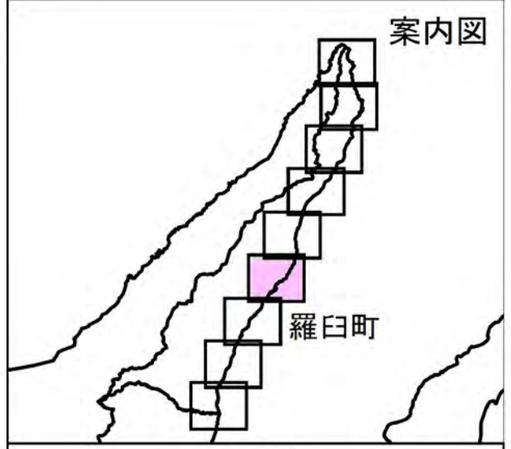
N
S

縮尺　1　：　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R 4JHs 187 」



船見町				
最大津波高	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	＋20cm	第１波	最大波
1.5m	2分	2分	3分	20分



凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

地点名				
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	+20cm	第1波	最大波
O.Om	OO分	OO分	OO分	OO分

※代表地点の津波諸元は、全ケースで元も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

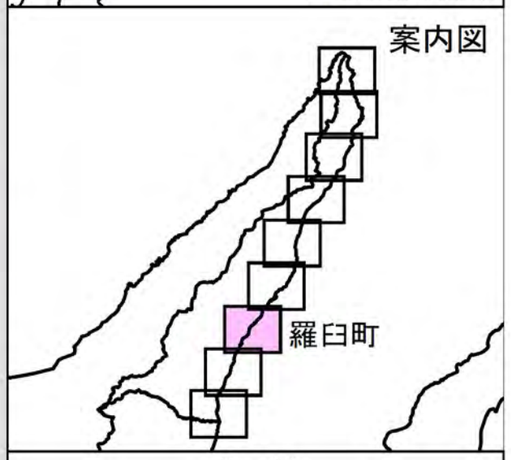
N
S

縮尺　1　：　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R 4JHs 187 」

松法漁港				
最大津波高	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	＋20cm	第1波	最大波
1.4m	1分	1分	2分	24分

於尋麻布漁港				
最大津波高	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	＋20cm	第1波	最大波
1.6m	4分	13分	13分	26分



凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

地点名				
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間		（参考）	
	±20cm	+20cm	第1波	最大波
O.Om	○○分	○○分	○○分	○○分

※代表地点の津波諸元は、全ケースで元も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

N
S

縮尺　1　：　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R 4JHs 187 」